会 議 録

1 会議名

平成 25 年度 第 2 回横島地域協議会

2 開催日時

平成 25 年 8 月 28 日（水） 午後 1 時 30 分から

3 開催場所

玉名市横島町公民館 第 1 会議室

4 出席者

委 員：大谷壽委員、米村博之委員、本島軍勝委員、横田洋子委員、大柿貴宏委員、
井口清美委員、境あかり委員、青山正男委員

事務局：松本市民生活課長、村崎審議員、塚本係長

商工観光課：仲山課長、津川係長、

都市計画課：神永係長、森川主任

企画経営課：上野審議員、石貫係長、入江主任

欠席者

委 員：本山重信委員、中道健一委員、中山勝利委員、大崎日出樹委員
坂崎郁美委員、高田優子委員、田上民康委員

5 会議の内容

(1) 開会

(2) 挨拶（大谷会長）

(3) 議題

①玉名市ふるさとセンターY・BOX、玉名市横島農産加工研修センター及び玉名市横島農業体験施設の指定管理者による管理について（諮問）

②玉名市都市計画マスタープラン地域別構想（案）について（報告）

③横島地域予約制乗合タクシーの運行について（報告）

④その他

(5) 閉会（米村副会長）

6 議事の概略・協議結果

(1) 玉名市ふるさとセンターY・BOX、玉名市横島農産加工研修センター及び玉名市横島農業体験施設の指定管理者による管理について

玉名市ふるさとセンターY・BOX、玉名市横島農産加工研修センター及び玉名市横島農業体験施設の指定管理者による管理について諮問され、協議会で適当と認められた。

(2) 玉名市都市計画マスタープラン地域別構想（案）について

玉名市都市計画マスタープラン地域別構想（案）について担当課からの報告があった。

(2) 横島地域予約制乗合タクシーの運行について

横島地域予約制乗合タクシーの運行について担当課からの報告があった。

7 会議資料

(1) 会議次第

8 傍聴人の数

0人

9 非公開の理由

—

10 会議録の種類

要点記録

11 発言の内容

(事務局)

皆さん、こんにちは。会議に先立ちまして本日は協議会委員 15 名のうち 8 名の出席をいただいておりますので、本日の会議が有効に成立することをご報告申し上げます。

それでは只今から平成 25 年度第 2 回横島地域協議会を開会いたします。

大谷会長よりご挨拶をお願いします。

(会長)

【記載省略】

(事務局)

ありがとうございました。次に本日の会議の会議録署名委員を会長より 2 名指名させていただきます。

(会長)

本島委員と井口委員をお願いします。

(事務局)

それでは、議題に入っていきたいと思います。

議事の進行については会長が議長をつとめることとなっております。よろしくお願いします。

(会長)

まず、玉名市ふるさとセンターY・BOX、玉名市横島農産加工研修センター及び玉名市横島農業体験施設の指定管理者による管理についてですが担当課から説明をお願いいたします。

(事務局)

【諮問に対する協議会の対応について説明】

(商工観光課)

【事業計画について説明】

(会長)

ありがとうございました。いまの説明に対しまして何か質問はありませんか。

(委員)

今、導入方針を説明いただいたんですが最終的な決定時期についてはいつになるんですか。

(商工観光課)

決定は11月中旬を予定しております。その後12月議会に諮りまして指定管理者の議決ということになります。

(委員)

最終的に諮られるというのはどういうことですか。

(商工観光課)

例えば3社が手をあげられたとして、3社ともプレゼンテーションをしていただいて収支決算、事業計画等で3社のうちから選定をする作業を委員さんにしていただき決定となります。

(委員)

選定委員会は2回あるわけですか。

(商工観光課)

事業説明、プレゼンテーション等で2回位を予定しております。

(委員)

現在は指定管理者のもとで運営をされているんですか。

(商工観光課)

そうです。平成22年4月1日からこのような運用をしております。

その時も同じようにプレゼンテーションを行っておりまして、当時は2業者が手をあげられておりました。そして現在の横島町特産物振興協会にお願いをしております。

(委員)

平成22年といいますと現在で4年目になりますが、この資料では5年ということになっていますが・・・。

(商工観光課)

基本的には5年ということになっております。

前回につきましてははじめての導入ということもあり期間については3年とか5年とかの議論をされたようですが3年ではあまりにも短いということで4年ということで決定をされております。

(委員)

スタート時はですね。今回は5年ということですね。

(商工観光課)

そうです。

(委員)

平成15年に地方自治法が改正されて指定管理者制度が導入されてから横島町特産物振興協会が1回されてるわけですか。

(商工観光課)

そうです。

(委員)

指定管理者制度の導入のメリット、目的などから判断して民間の活力は活用できていますか。

(商工観光課)

利益、サービスそしてお客様を迎える側の民間の持つノウハウを導入しながら顧客を獲得する手法をとられているようです。

また、年間を通してイチゴマラソン、各種物産展等いろんなイベントに参加されており、今、毎月第1木曜日と金曜日に福岡市役所の前の広場できらり輝け玉名の市ということで物産販売を行っていますが、それにもY・BOXには来ていただいて販路拡大ということでPRを積極的にされており、民間の活力を充分とりいらっしゃると思います。

(委員)

立候補がなかったらどうなるのでしょうか。

そういうことがないのかどうか。

前は2業者ということですが、今回の申し出がありそうかどうか差し障りなければ教えてください。

(商工観光課)

まだ全然わかっておりません。候補がでたところで正式に発表いたします。

経営状況からみて、民間活力を含めたところで応募があるのではないかと思います。

(委員)

今、横島町特産物振興協会が経営をされておりますね。やめてしまうと社員さんの雇用等もあるので応募はあるんじゃないでしょうか。

(商工観光課)

補足ですが、もしも1回目に応募がなかった場合に再公募にするか直営にするかという方法をとるか検討をしたいと思います。

(委員)

極論をいうと全然利益がでないからということで手があがらないこともあるかと思いましたが質問しました。どこも手があがらなかった場合、直営も考えられるということですね。

(委員)

現在の収支はどうなんですか。

(商工観光課)

今のところの決算状況は年間で200万円～300万円の黒字がでております。

(委員)

横島町の時代は一般会計から繰り入れをしてましたもんね。

200万円～300万円の黒字がでていているということであればいいことですね。

(横島市民生活課)

第1回目は非公募ということでスタートをしております、非公募から公募そして公募となりますので今回で第3回目となります。訂正いたします。

(委員)

公募にするか非公募にするかというのは規約にはないのですか。

(商工観光課)

資料2Pの4番に公募の実施の有無ということで記載してあります。

(委員)

よその業者さんよりも地元の業者さんの方が地元雇用等の面もありますがそういうことも審査基準になるんですか。

(商工観光課)

はい。

(委員)

今お勤めの方は玉名に住んでいる方ばかりで、これが公募して全然違う業者さんが入られた場合、その人たちは仕事がなくなるからですね。そのへんは考えてあるのかなと思ひまして・・・。

(委員)

横島町特産物振興協会の出資母体は今も変わらないのでしょうか。

(商工観光課)

農協、漁協、商工会、玉名市4者の有限会社で株式方式です。

(委員)

そして指定管理者になっておられるんですね。

(委員)

例えばゆとり一むは市から委託料をだしますよね。Y・BOXの場合は0円ですよ。

(商工観光課)

それは収支状況によるものです。市の施設のなかでも黒字の施設が何箇所かありましてそのなかで横島のY・BOX等においては黒字決算でやっていけるということで0円です。ゆとり一むなど施設の運営状況から指定管理料がないとやっていけないというところには委託料を支払っております。

(委員)

指定管理者の説明のなかで23箇所の施設があるということですが、そのなかで管理料を払う施設、払わない施設があるわけですね。なぜかなと思って・・・。そのへんの基準があるんですか。

(商工観光課)

各施設で所管が違いますから十分な把握はしておりませんが、指定管理料として支払いをしているところもあります。Y・BOXも平成18年、19年位には290万円位の管理料の支払いをしていました。

(委員)

市からの持ち出しがあったということですか。

(商工観光課)

指定管理料として290万円位をあげておりました。

(委員)

業績がいいということですね。

(委員)

ゆとり一むの指定管理者をお願いするときに玉名市社会福祉協議会が一番いいだろうということで結論がでたということですが、今回も横島地域協議会としては今のような形で横島町特産物振興協会に受託してほしいなという個人的な気持ちはもっております。横島の農協、漁協、商工会あるいは玉名市が出資をしておられますね。

玉名市としてはどこがしてもいいんでしょうが、横島漁協とか農協の横島総合支所とかが出資しておればできるだけ横島の産物を直売するところですからできるだけ横島町特産物振興協会がいいんじゃないかなと個人的には思います。

(会長)

ほかにありませんか。

(委員)

【なしとの声あり】

(会長)

それでは諮問のとおり答申してよろしいでしょうか。

(委員)

【異議なしとの声あり】

(会長)

それでは議題 2 の玉名市都市計画マスタープラン地域別構想（案）についての報告ですが担当課より説明をお願いします。

(都市計画課)

【 概要説明 】

(会長)

ありがとうございました。いまの説明に対しまして何か質問はありませんか。

(委員)

玉名市都市計画マスタープランが完成すると、20 年間この方針で進めることになるということですか。

(都市計画課)

基本的には、この計画期間が概ね 20 年間と示させていただいているところですが、絶対 20 年間をこの方針でいきなさいということではなくて、やはり今回市町村合併や都市計画区域の再編等があったということが主な要因で今回計画をつくっているというような背景があるんですけど、例えば策定して 5 年後にまた計画を作り直す可能性もあります。

(委員)

合併したときに合併協議というものがあつたんですね。合併したときには市・町で、合併協議を大事にしていこうということで、お互いに共通理解を深められていた。

ところが実際に合併して市政を進めていかれる中で、合併協議時点の内容と変わってきた。もちろん時代も変わっているから考えが変わるかもしれないけど、変わり方がひどいなという風に私は個人的に感じております。何の為の合併協議だったのかなと。議会あたりでそれが出て、大きく当時の合併協議の内容と違った方向にいくときに、我々一般市民は、いかんともしがたい。無力なんですよ。これで新しい都市計画マスタープランが出来て、20 年間という私たちも生きてないかもしれないが、孫達の時代になってどうしてこんな風に計画に謳ってあるのかという風にならないように。

例えば、都市計画で岱明の方は長洲の都市計画から玉名に編入されている。横島町は、全く前と変わらない。同じ有明中学校校区でも、豊水と大浜は都市計画区域。なんで横島だけ都市計画区域外なのかなと疑問があるんですよね。その辺は、どういう考えになっているのでしょうか。

(都市計画課)

合併当初の考え方としては、一体的な都市として進めなければならないということが前提条件としてございました。その中においては、やはり合併したことによって、同じ玉名市の中で都市計画区域と都市計画区域外の地区が生じているわけなんです。これまでの経緯を申し上げますと、この横島地域協議会の中でも合併に伴

って都市計画区域に編入することについて協議がなされているという経緯がございます。

都市計画区域になってどういうメリットやデメリットがあるのかというご審議の中で、色々メリット、デメリットがあるんですけども、一番多くご意見が出たのが、やはり都市計画区域に入ると建築基準法上の問題が出てきまして、例えば家を建て替える際に接道する道路が狭いとセットバックしなければいけないという風なことになります。要は例えば道が狭いので、これは建築基準法上の問題で、4m以上確保しなければならないという規定が出てくるんですよね。その辺りが横島町や天水町で協議された際に、そのようなことが懸念されるということで、我々も努力したところですが難しいという結果になりました。

(委員)

玉名市大浜町の大栄地区は都市計画区域になったということで、同じ干拓の地区形態の昭栄地区や新栄地区は余り条件等も変わらないんですよ。以前から横島町で言われていたことは、横島町は干拓で造成された平坦な水田地域で、施設園芸や稲作とかの生産が盛んで、将来的にも優良農地として大事にしていこうと。だからといって都市計画を全然誤解しているわけではなくて、例えば国道 501 号線沿いあたりは、都市計画区域に部分的には入れられないかなという意見も出ていたんですよ。それは、都市計画課の方にも声が聞こえてきていたと思いますので、そういったこれまでの経緯について簡単にでも説明していただけないでしょうか。

(都市計画課)

今、おっしゃられたことにつきましては、本日の資料ではお示しできませんが、この計画の全体構想の最初の基本方針の部分で、現状では都市計画区域と都市計画区域外があることから、将来的には玉名市も合併して一つの都市になったのですから、一体的なまちづくりを進めるうえでは、一体的な区域再編を検討していきますとの計画文案等を盛り込んでおります。今すぐという訳ではなく将来的な方針としてですね。ですから、引き続き皆様のご理解等をいただきながら努力していく所存でございます。

(委員)

それともう一つ。南部地域は、ここに書いてあるとおり、特に横島、大浜地区は干拓によって造成された本当に恵まれた平坦な地帯ということで、外部の市町からお見えになった方からは、「広々としていいですね。」という言葉をいただいております。展望公園とかビッグジャングルジムから眺められて、その景観にびっくりされるんですよ。景観的には、有明海の風景も取り入れて眺められるからですね。夕方とかは、「夕日がすごいですね。」と感動されるんですよ。

それと、南東部地域の小天の農免道路から干拓を眺めると、それはもう一大パノラマで、非常にこの計画書に書いてあるように豊かな田園風景なんですよ。

今度も国の方が、世界遺産に候補を2つ挙げて、熊本県も推薦候補に2つほど入っておりますけれども。長崎の教会群とキリスト教関連遺産として天草の教会が長崎と一緒に。また万田坑跡と三角西港が明治日本の産業革命遺産ということで入っておりますが、この中に明治時代の干拓遺産を一緒に申請できなかったのかと、私は思うんですよ。その辺はどうなんでしょうか。その辺は、文化課関係ですかね。

(都市計画課)

その辺りは文化関係ですので文化課の方が情報等は詳しいかと思うんですけれども、今おっしゃいました横島地域の文化的資源ですけれども、この都市マスの中でも景観という項目がございました。そういった玉名市の恵まれた資源などの景観素材の活用ということで、道路整備とかそういったハード事業をするばかりではなく、資源を大切にしながらソフト的に景観や先ほどおっしゃられたように皆さんがいいと思うようなものを大事にしていかなければならないと思います。そういったことも計画の中に取り混ぜながら計画の策定をしていきたいと考えております。

(委員)

そうですね。そういう部分は、取り入れていただいて。

それとですね。今、文化課の話が出ましたけれども、私はですね、明治時代の干拓遺産の保存活動に当たっております。保存会の方やボランティアの方、それと地元の方たちにしっかりと応援していただいております。それから市役所の横島支所の職員の方にも応援していただいております。

あそこに説明板みたいなものを作っただけじゃないかと文化課に相談すると、予算がないということではねられるんですよ。それじゃだれに言えばいいのかと。それでは財政課ですかと。でも財政課に私が言いに行っても、そんなことは外部から言いに来られても困りますと言われることは分かっている。だから都市計画課の方からも、景観形成やそういった資源の保全等の面からその必要性や予算的に必要な部分などを財政あたりにきちんと提言していただきながら、歴史的遺産等をもっとアピールできるようにしていただきたいと思います。

(委員)

全く都市計画というものが分からないので少し教えてください。

横島町は、都市計画区域には入っていないんですよ。

その指定などは、誰がされるんでしょうか。

(都市計画課)

熊本県が指定されます。

(委員)

区域を指定するときに、どういった判断で区域に入れたりされるんでしょうか。

(都市計画課)

そうですね。前回の区域再編のときに私も都市計画にはまだ居なかったんですけ

れども、区域を再編するに当たっては、当然、県のほうが決定権者でございますので、県の方にご相談申し上げて協議を進める必要がございます。

また、先ほどもお話いたしました、以前再編された際には、旧岱明町は長洲都市計画区域に入っておりましたので、長洲都市計画区域から切り離して玉名都市計画区域に持ってくるという作業がございました。その際、残っている都市計画区域以外の地区の方々には、住民アンケートを行ったと聞いております。最終的には、アンケートの結果や再編に賛同するかどうかですとかメリットやデメリットに関することなどを住民説明会などで説明して、最終的な区域に入れるか入れないかを判断したと聞いております。

(委員)

都市計画と聞くと道路ですとかそういったものを思うんですけども、先ほど言われた将来的には一体の都市として都市計画区域に指定する方向で進めていきたいということですよ。

(都市計画課)

はい。都市計画マスタープランの計画書の中でも、そのように謳わせていただいております。

(委員)

横島町は都市計画区域ではないけれども、法的にこの都市計画マスタープランの中の計画書の中に南部地域として謳っているということですか。

(都市計画課)

横島町が都市計画区域ではないからこの都市計画マスタープランの計画書の中に入れませんということではなくて、この計画は玉名市における一体的な大きなまちづくりの考え方なんですよ。

ですから、今回の計画の策定の中では、都市計画区域内外の線引きはせず、合併した一体的な都市として全体のまちづくりを目指しそのように謳わせております。

(委員)

今回の計画では4つのキーワードを掲げてありますが、「交流」というキーワードのところに、やはり干拓遺産に関することが出てくるのかな。市内外の交流を問わずということ。

また、資料3の36ページに石塘樋門の写真を掲載していただいたのは、ありがたいと思います。

(都市計画課)

現在、大牟田市から熊本までの道路の延伸については、候補路線から計画路線への格上げを要望されている段階であるため、今現状としては、ここまでの記述でしか計画書には記載できません。

しかしながら、将来的に有明海沿岸道路の延伸について、本格的に進んでくるの

であれば何らかの形で見直し若しくはまちづくり方針の変更等について検討しなければならないと思います。

現在は、荒尾市が中心になって広域で候補路線から具体的な計画路線になるよう各関係自治体を含めて取り組まれております。

(委員)

この道路が出来れば、人の流れも大きく変わってくると思います。また降口が出来るかどうかでも全然違うんですけども、もしそうなった時には、計画の変更等が必要かと思います。

(会長)

ほかにありませんか。

(委員)

【なしとの声あり】

(会長)

それでは玉名市都市計画マスタープラン地域別構想（案）については終了します。どうもありがとうございました。

(会長)

それでは議題3の横島地域予約制乗合タクシーの運行についての報告ですが担当課より説明をお願いします。

(企画経営課)

【 概要説明 】

(会長)

ありがとうございました。いまの説明に対しまして何か質問はありませんか。

(委員)

車両については専用車両というのはいないのですか。

(企画経営課)

車両についてはタクシー業者が持っておられる車両を活用することになっています。

(委員)

いちごタクシーとかの確認はどうするんですか。

(企画経営課)

それがわかるようにマグネットで貼ってわかるようにして使うような形になっております。

(委員)

エリア外のポイントを4箇所設定してありますが、今後要望があれば変更される可能性はあるんですか。

(企画経営課)

エリア外のポイントにつきましてはご要望等をお伺いしてできるだけ多くを設定し

ておりますが、実際バスとの競合する部分がでてきますのでバスとの調整が必要になってきたりすることがありますのですぐにポイントを増やすということは難しい状況です。

ただ、半年の間で状況を見ながらあるいはご要望等お伺いをしながら場合によってはどうしてもポイントを増やしてほしいということがあれば検討の余地はありますが要望があったらすぐ増やしますよというような状況ではありませんので基本的にこの4箇所では当面は運行していくということになります。

(委員)

横島から岱明方面に行きたい場合にはこの4箇所からの乗りかえということですか。

(企画経営課)

そうです。例えば6時台の便で玉名駅まで行かれて時間の関係もありますが場合によっては8時台の便で玉名駅から岱明方面へという形で利用していただく形になります。

(委員)

利用するときは1時間前までにどこからどこまで行って帰りは何時ごろどこからどこまでお願いしますということですね。

(企画経営課)

そういう予約が必要になりますので例えば横島を6時台の便で乗っていければ前日までに6時台の便で駅まで行きますということで予約をいれていただいて、その時に8時台の便で玉名駅から岱明の方に行きますよということで両方予約が必要になります。そういう形での利用はできるようになります。

(委員)

利用登録は1箇所でもいいんですか。

(企画経営課)

申込書にはエリア毎でということでエリアを2つ載せておりますのでどちらも登録をしたいということであれば申込書に両方まるをしていただければ両方に登録をします。

(委員)

みかんタクシーには乗れないんですか。

(企画経営課)

みかんタクシーとは運行の事業者が違いますので・・・。

(委員)

岱明地区と横島地区は行き来できるけども天水地区とは行き来はできないんですか。

(企画経営課)

そうですね。ここのエリア内とエリア外4箇所のポイントまでの運行しかできません。

(委員)

天水地区に行く場合は玉名駅からバスに乗りかえていくということですね。

(委員)

天水地区にはバス路線が残ってますもんね。

(企画経営課)

そういう形でのすみわけということになります。ここはバス路線の廃止に伴って代替の乗合タクシーという位置づけになっておりますのでバスとのすみわけとなっております。

(委員)

登録をしなければ利用できないんですか。

(企画経営課)

利用をするためには登録をしていただく必要があります。

(委員)

例えば寝坊して出て来られないこととかありますよね。そういう時は・・・。

(企画経営課)

あくまで乗合になりますので予約が入った方を迎えに行って降ろすというような形になります。待つ時間をとりますと結局他の方に迷惑をかけることになりますので2～3分待つて来られなければ次に行くというような運行の形になっていくかと思えます。お客様の状況によるかとは思いますが。

(委員)

ある意味、タクシー感覚でいいじゃないですか。

(企画経営課)

乗合ですのでご自分の思った時間に思ったルートで目的地までいけるというものではないということをご理解をいただきたいと思えます。

(委員)

運よく自分1人しか予約がない場合はタクシーと同じですね。

(企画経営課)

そうですね。集中しない時間帯であればそういう場合も考えられますね。

(企画経営課)

今回の乗合タクシーの件ですが各地区で住民説明会を予定しております。

横島地区につきましては横島町公民館で9月5日(木)の午後4時からと午後7時から2回予定をしております。広報等でお知らせしておりますが皆さん時間があればお誘いあわせのうえご参加をお願いします。

(委員)

小学生の利用も可能なんですか。

(企画経営課)

それにもかまいません。

(委員)

1回100円ですか。

(企画経営課)

そうです。小学生であれば大丈夫です。未就学者であれば保護者の方と一緒にということになります。

(委員)

学校側はどうなんですか。

(企画経営課)

通常バスとおなじようなものと考えていただければ結構ですので……。

(委員)

横島小学校は全員徒歩通学なんですよ。

(企画経営課)

学校側でのルールに準じていただければと思います。利用形態としてはそういう利用もできます。

(委員)

怪我した子がいてどうしても家族が送ってやれないとかで毎日使いたいという利用はあるかもしれませんね。

(委員)

そうですね。中学校もつかえますもんね。

(企画経営課)

利用者の制限はありませんのでそれはかまいません。

(委員)

保護者からの要望があった時にこういう場合ならOKとかですね。学校側の判断でしょうね。

(会長)

ほかにありませんか。

(委員)

【なしとの声あり】

(会長)

それでは横島地域予約制乗合タクシーの運行については終了します。

どうもありがとうございました。

(会長)

それでは議題4のその他ですが皆さんから何かありませんか。

(委員)

【なしとの声あり】

(会長)

事務局からはありませんか。

(事務局)

ありません。

(副会長)

それでは平成 25 年度第 2 回横島地域協議会を閉会します。今日はどうもお疲れ様でした。

12 会議録作成者

玉名市横島支所 市民生活課 係長 塚本昭広

13 会議録署名人署名欄

--	--

14 問合せ先

玉名市横島支所市民生活課 TEL : 0968-84-3111 (直通)